

# 広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 星野弘尊

## 「朝日診療所の取り組み」

先月は未曾有の大地震が発生し、多くの方が犠牲になりました。犠牲になった方の冥福をお祈りします。またその影響で診療所も町民にご不便をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで、なんとか持ちこたえることができたと思っております。ありがとうございます。ございました。

今年度は佐竹先生、高柳先生の異動があり、大きな変化の年となります。はじめのうちは町民にご迷惑をかけることもあるかと思えます。その時は、診療所を温かく見守り、育てていくようなつもりで、様々なことをご教授ください。

まずは、これまでの診療所の取り組みについてご紹介したいと思えます。なぜ今、これまでの診療所のことを知っていたら良かったか。それは、より診療所を身近なものに感じていただきたという思い、また、これまでの取り組みも、これからの取り組みも町民のご協力がなくては困難であると考え、そして、医療を受け

るといふ受け身の立場ではなく、町民が地域医療に参加していくことが、よりよい医療の第一歩となると信じているからです。

南会津郡は神奈川県に匹敵する面積を有します。南会津郡の医師数は人口10万人あたり約99人(全国平均213人)であり、さらに只見町は、人口10万人あたり60人という全国の3分の1以下の医師数です。その限られた医師数でよりよい地域医療を行うべく取り組んできました。

診療体制では、できるだけ待ち時間を減らすよう予約制としています。予約なしの急病で受診された方も1人の医師が検査の合間を縫って、診察に当たりました。また、これまででなかった午後の診察を行ってきました。そのためか、また町民の意識の変化のためか、夜間の救急患者が減っている印象です。ありがとうございます。19床のベッドは急病の方が入院できるよう努力しています。それはある面では、

患者、家族の不安もあり、冷たいようでもあります。しかし、診療所が満床で入院ができない状態となれば、田島や会津若松まで搬送しなければならなくなることを考えると、町での診療所の役割を考えた上での苦渋の選択と理解いただけたと思います。ご存知のように入護、福祉の施設の少ないこの町では、なんとかいろいろなサービスを利用して、在宅介護を行っていくより他に方法がありません。少ない医療資源、社会資源を有効に利用していくために町民のご協力が大切です。もちろん診療所としても在宅介護支援センターや訪問看護と密接に連携し、訪問診療も積極的に、在宅介護を支えていく所存です。よろしくお願いいたします。

保健福祉課との連携も重視しています。以前も広報でお伝えしたように、やはり「健康」とは「未病」の段階を維持することが大切です。そのため「予防医学」を行っています。保健師と連携し、予防接種、健康診査、講演会、住民座談会などを行ってきました。町民が病気の知識を増やすことで、どのように健康を維持するかを理解できると思います。診療所では24時間の救急車

の受け入れを行っています。診療所で行うことは限られていますが、診療所で受け入れを行わなければ、南会津病院へ1時間の搬送、重傷では何の処置もなく会津若松まで2時間の搬送がなされることになり、その間に命を落とす可能性も否定できません。診療所で迅速に診断、初期治療を行い、重傷な患者は速やかに2次医療機関、3次医療機関へ搬送することが診療所の役割と考えています。只見町内の救急出動の9割以上は診療所で受け入れていきます。そのため看護師はBLSという救急初期治療を学び、救急治療の心構えができました。また只見の救急隊は診療所で研修を行い、診療所との連携を強めています。医師が常に救急隊と連絡が取れるよう携帯電話を携帯し、ホットラインを結んでいます。心肺停止など現場での治療が重要な救急出動では、可能な限り救急車に同乗し、現場での治療を行い、一人でも多くの町民を救うべく活動中です。

診療所内での活動では、感染対策委員会などの各種委員会を行い、診療所内の管理と運営の強化を行いました。学生や研修医などの受け入れを行い、未来の医師、初期研修医に地域医療の魅力を伝えてきました。将来、只見へ来る医師が育つことを祈りつつ。学生、研修医を受け入れることは我々にとっても、勉強になり、また医療がきちんと行われているかどうか外部から目を向けられることにもなり、身が引き締まる思いです。町民の方々にも多大なご協力を賜っております。ありがとうございます。

このように、医療、介護、福祉、消防が連携して地域医療を行っています。その連携により良い医療が行えるものと思えます。繰り返しになりますが、町民が医療を受けるという受け身の意識でなく、積極的に地域医療に参加するという意識をもつことで、医療はもつとよくなり、良くなります。

これまで佐竹所長のもと築き上げた医療体制を維持、発展させて、さらに町民一人一人に寄り添った医療を目指していきたいと思えます。そのためには行政や町民のご協力が不可欠です。町全体で地域医療を作り上げていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。